



5月 矢板市議会佐貫議長と石塚副議長が笠間市議会を訪問



6月 自民党友部支部総会にて



6月 台湾農業・加工関係者笠間市訪問歓迎レセプション



6月 自宅でキエーロ作製ワークショップの準備



6月 日本ゴルフツアー選手権でのロータリークラブ募金活動



6月 民泊受入した岡山県の高校生と大石邸清掃活動



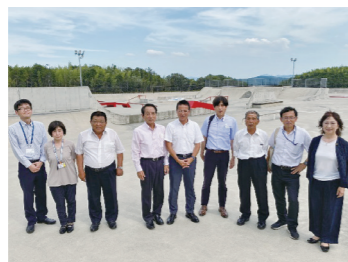
6月 那珂市環境フェスティバルでキエーロ製作ワークショップ



7月 水戸市清掃施設を視察



7月 井筒屋での台湾交流イベント



7月 笠間市議会建設土木委員会視察松坂市スケートパーク



7月 議員インターンシップ生と笠間めぐり



8月 カサマフォトミッション打合せ



8月 元高校の先生 ダニエルさんと今は八郷で有機野菜を栽培



8月 台湾農業関係視察団の皆さんと



8月 いばらき大使・笠間特別観光大使の安達勇人さんと



8月 ジュニア・キッズドッジボール大会 選手宣誓を受ける

うち おけ かつ ゆき
内桶克之
プロフィール

人生の原点！
大学時代の毎朝仕事

生年月日 昭和35年(1960年)10月1日生まれ(63歳)
学歴 法政大学大学院修了(政策学修士)、日本大学農獣医学部卒業
 ※勤労学生：朝3時に起床し、新聞・雑誌を私鉄の駅の売店に運ぶ
現在 笠間市議会副議長、議会運営委員会委員、建設土木委員会委員
 友部ロータリークラブ幹事
 ともべ幼稚園理事、NPO法人グラウンドワーク笠間顧問
 NPO法人らら音楽アトリエ理事
 BMW日本ゴルフツアー選手権森ビルカップ大会役員
 笠間市ドッジボール協会理事長、茨城県ドッジボール協会顧問
 ウォーキング&ごみ拾い、スポーツ観戦、笠間焼を味わう贈ろう運動
趣味
信条 「他人と過去は変えられないが自分と未来は変えられる」



内桶克之
オフィシャルHP



内桶克之
YouTube



妹の職場を訪問

ともに歩む

令和5年9月発行
 発行：内桶克之
 連絡先：〒309-1706
 笠間市鴻巣 593
 Tel: 0296-77-2524
 Mob: 090-1811-0098
 Fax: 0296-77-2524

皆さん、こんにちは、内桶克之です。

今年は梅雨時の雨が少なく、夏の訪れが例年より早かったため、農作物への影響があると思います。梅雨前線の代わりに弾丸低気圧の通過などで一気に雨が降る現象あり、注意が必要です。猛暑も長く続く予報ですので体調には十分注意してお過ごしください。

皆さんの地域や身の回りでご相談事がありましたら、ご相談ください。調査をしたうえで、今後どのようにすればよいかなどをお答えさせていただきます。



6月のざっだん交流会
毎月第2土曜日18時30分~トモアで開催

第2回臨時会の開催

5月2日に物価高騰対策を含めた補正予算を審議しました。

物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯、行政区、居宅系福祉サービスの事業所、民間児童クラブ、医療機関等の支援など16事業の補正予算が提出され、各常任委員会の審査を経て採決を行い、全て議案を可決しました。

第2回定例会の開催

令和5年第2回定例会が5月31日から6月15日までの16日間の会期で開催され、常任委員会による議案審査、全議案を議決して閉会しました。

今回の定例会に提出された議案等は、陳情1件、議案12件、さらに委員会提出議案1件(清掃施設整備等調査特別委員会設置)です。

陳情は「笠間市議会に提出された請願書、陳情書の市議会ホームページ上での公開を求める陳情」は、全会一致で「趣旨採択すべきもの」として趣旨採択されました。

条例では「笠間市内における太陽光発電設備設置事業と住環境との調和に関する条例」の一部改正では、届出の面積要件を10,000㎡以上から3,000㎡以上に変更となる内容が可決しました。「笠間芸術の森公園スケートパーク管理条例」の一部改正では、休憩施設の整備に伴い、休憩施設を追加する内容が可決しました。

清掃施設整備等調査特別委員会を設置

市では老朽化した清掃施設を新たなごみ処理施設の整備を目指し、既存施設の隣接地に整備する計画をしています。この清掃施設を計画・設計・建設工事や周辺地域における生活環境向上施設等の整備について、調査・検討するため、「清掃施設等調査特別委員会」の設置議案が議会運営委員会から上程され、全会一致で可決されました。

令和5年第2回定例会一般質問は下記の項目を質問しました。

1 選挙の投票率向上について

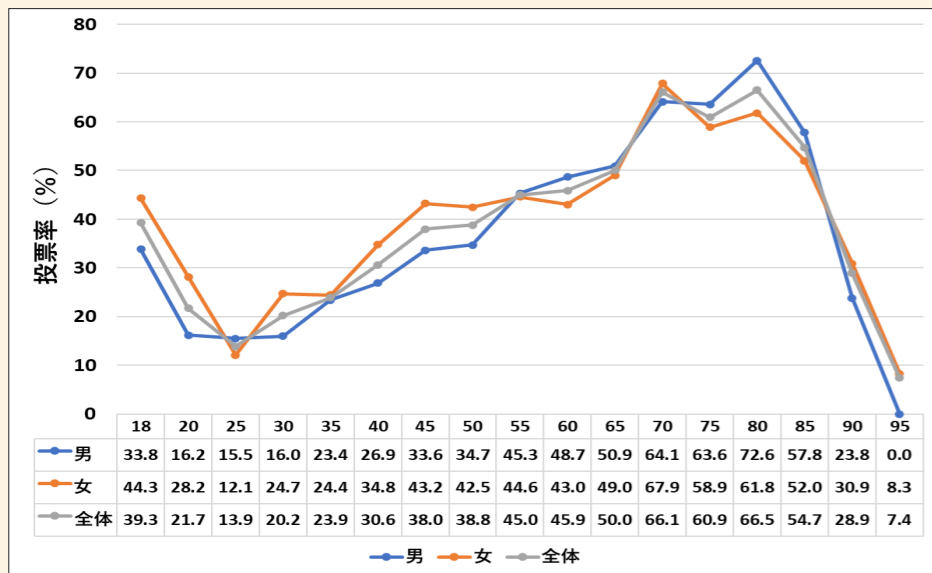
議会基本条例の制定に伴う取り組みとして、議会の活動を多くの市民に知ってもらうことも含め、各党派から意見をいただき、検討を進めている。このような状況を踏まえ、投票率向上対策について、現在までの対策と今後の対応などについて質問した。

2 市職員の採用について

新規職員採用については、県や他市の試験を併願している受験者が多く、合格しても県や他市に人材が流れ、追加合格、後期試験などで人材を確保している状況にある。さらに定年延長制度や会計年度任用職員制度の導入など、人事を巡る体制は変化している。そこで新規職員採用試験の取り組み、定年延長制度の導入、会計年度任用職員の状況等について質問した。

1 選挙の投票率向上

令和3年以降、笠間市で行われた選挙の投票率をみると、令和3年9月の県知事選挙が38.46%、令和3年10月の衆議院議員選挙笠間地区が52.31%、友部・岩間地区が49.75%、令和4年7月の参議院議員選挙が45.87%と低投票率となっている。市議会議員選挙は、前々回の平成26年が60.40%、前回の平成30年が54.65%、そして今回が45.57%と最低投票率を更新している状況となっている。



令和4年12月市議会議員選挙 市内投票所6カ所の年齢別投票率

問 投票時間の繰上げについて

答 総務部長 投票者数が少ない時間帯、期日前投票者数増加で、投票当日は2時間繰上げ午後6時まで。

問 投票時間繰り上げの理由について

答 総務部長 投票日当日の午後6時以降は他の時間帯と比較して投票者が少ない。期日前投票が午後8時まで実施しており、投票者の利便性が図られている。

問 選挙公報について

答 総務部長 候補者の氏名、経歴、政見、写真を掲載。市長・市議会選挙は市選挙管理委員会で作成、新聞折り込みや公共機関に設置。インターネットやSNSの活用、選挙の概要、公報、不在者投票の手続、期日前投票のお知らせ等掲載。懸垂幕やのぼり設置、市内事業者128カ所にポスター掲示、23事業者で店内放送等。高校生へ出前講座を実施、基本的な事項や投票方法説明、より投票をイメージできるよう模擬投票で実際の記載台や投票箱を使用し啓発している。

問 選挙後の資料掲載

答 総務部長 選挙のお知らせページに掲載されている。開票結果のページでも閲覧できるように検討する。

問 期日前投票の充実

答 総務部長 本庁、笠間・岩間支所で午前8時半から午後8時まで実施。期日前投票開始前に入場券を発送。市内高校で移動期日前投票を検討中である。

問 主権者教育の状況

答 教育長 小中学校社会科で、茨城県選挙管理委員会配布の選挙ガイドブックを使用。生徒会役員選挙を市内全中義務教育学校で実施、実際の投票箱や記載台の使用、告示、演説会、投票で、生徒の主権者意識を高める。明るい選挙啓発ポスターコンクール等の活動で、市内小中学校の子どもたちが選挙を身近に感じる教育を行う。

問 今後の投票機会の拡充と投票率の向上対策

答 総務部長 移動期日前投票所の検討、投票率の低い若い世代の投票率向上のため、学生が活動するグループと意見交換会を検討、投票に行かない理由、行くために何が必要か等意見を伺う予定。

2 市職員の採用

問 近年の応募状況と採用状況、市内外在住者の内訳

答 市長公室長 令和3年度、事務職応募249人、採用18人うち8人市内、10人市外出身。消防職応募128人、採用4人うち1人市内、3人市外出身。社会福祉士や看護師など6区分の専門職の応募合計20人、採用7人うち3人市内、4人市外出身。令和4年度、事務職応募138人、採用10人うち4人市内、6人市外出身。消防職応募51人、採用5人うち3人市内、2人市外出身者。菊栽培所の技能労務職や看護師など4区分の専門職の応募合計10人、採用2人うち市内・市外出身者1人ずつ。

令和3年度職員採用試験実施状況

区分	申込者数	採用者数	倍率
事務職	249	男 13 市内 8	13.8
		女 5 市外 10	
消防職	128	男 4 市内 1	32.0
		女 0 市外 3	
専門職	20	男 2 市内 3	2.9
		女 5 市外 4	
合計	397	29	13.7

令和4年度職員採用試験実施状況

区分	申込者数	採用者数	倍率
事務職	138	男 6 市内 4	13.8
		女 4 市外 6	
消防職	51	男 4 市内 3	10.2
		女 1 市外 2	
専門職	10	男 1 市内 3	5.0
		女 1 市外 1	
合計	199	17	11.7

問 辞退者を減らす対策

答 市長公室長 茨城県やほかの自治体を併願する人が多い。令和5年度は試験日程をかぶせ、併願者を減らすことで対策。職員に関する制度、例えば、入庁後の研修の充実による個人のスキルアップ、資格、技術取得に対する補助制度、副業制度、派遣実績、時差勤務の導入や連続休暇の取得、ノー残業デーなど、職員の働き方改革に積極的に取り組んでいることを募集要項などに入れ、広くPRし本市の職員になることに魅力を感じる受験者を増やす試みを開始。

問 採用枠の特徴

答 市長公室長 事務職は、大学卒、高校卒、高校見込み者の試験区分を設定、バランスを取った採用、社会人経験者の受験が可能。ボランティアなど地域貢献活動やスポーツ文化活動等の採用。情報技術の発展に伴うIT人材の確保のためICT情報処理の採用、令和4年度はグローバル化の一層の進展のため外国籍の方対象の試験。菊の栽培業務や技術の継承を目的の技能労務職の採用試験を実施。

問 採用試験の特徴や重視する選考について

答 市長公室長 ウェブエントリー導入、基礎能力検査や事務能力検査等を各都道府県設置のテストセンターで行い受験者の利便性の向上と広く優秀な人材の確保。令和5年度国籍要件を撤廃、外国籍の方も受験可能。コミュニケーション能力や協調性、行動力、説明力を求め、人物重視の選考のため個人面接を2回、集団討論で個々の能力を見定める。

問 人事担当の研修

答 市長公室長 人物重視の選考としていることから担当する職員に対しては研修を実施。茨城県市長会、茨城県町村会が合同で開催している面接試験技法研修会に面接試験担当の職員を派遣し、面接技法を習得。

問 今後の職員採用の方向性について

答 市長公室長 中途者採用で、即戦力となる専門職の積極的な採用。事務職の年齢を27歳に引上げ、大学卒業後の経験やスキルを持った方の採用。外国籍の方の受験が可能で多様な文化や価値観を持った方を採用、異文化理解や外国語能力等の付加価値を持った人材の確保。性別、年齢、障害の有無に関係なく能力や適性を評価、公平公正な採用。人物重視の選考で、学歴も重要だが、志望動機や人柄、コミュニケーション能力等を重視、市民と協働できる人材を採用。

問 定年延長制度の導入について

答 市長公室長 令和5年4月導入、60歳以降の勤務形態を定年延長、定年前再任用短時間勤務、退職から選択。定年延長の管理職の部課長は、役職定年により課長補佐級に降任、給与は定年前の7割の水準に引下げ。

問 会計年度任用職員の採用状況について

答 市長公室長 令和5年4月1日現在452名勤務中、20代以下25名、30代44名、40代108名、50代90名、60代154名、70代以上31名、男性132名、女性320名。令和5年度新規応募は、事務職61名、用務技能職11名、専門職6名応募。募集を行った所属で面接試験を実施し採用。

問 会計年度任用職員の待遇について

答 市長公室長 昇給を伴う報酬、期末手当、特殊勤務手当等支給、令和6年度から勤労手当支給。福利厚生は、年次有給休暇、夏季休暇、介護休暇等休暇体制が拡充。令和4年度より育児休業や介護休暇等の取得要件が緩和。